

スターチス・オリジナル品種の育苗温度と収量性

1. はじめに

スターチス・シヌアータは幼苗時に高温に遭遇すると抽苔が遅れ収量が少なくなることから、クーラー育苗が行われています。しかし、近年栽培されている品種は、夏季クーラー育苗をしなくても収量が確保できる可能性があります。ここでは、県オリジナル品種について、クーラー育苗苗となりゆき温度下（常温）で育苗した苗の収量性を比較した結果を紹介します。

2. 試験方法

表1に示すオリジナル品種8品種を供試しました。5°Cで24~28日間冷蔵した発根培養苗（写真1）を7.5cmのポリポットに鉢上げし、クーラー施設（昼間25°C/夜間15°C）およびなりゆき温度下のガラス温室（遮光率65~70%）で育苗しました。定植は9月7日を行い、3月彼岸までの収量を比較しました。なお、試験は2015年と2016年に実施し、冬季は最低夜温3°Cで管理しました。

3. 試験結果

育苗施設内の気温は両年ともクーラー区ではほぼ設定温度どおりに推移し、平均気温は20.3°Cでした（図1）。一方、なりゆき温度区の平均気温は、2015年は29.6°C、2016年は30.6°Cとクーラー区よりも10°C程度高くなりました。

定植2週間後の抽苔株率は、「紀州ファインバイオレット(FV)」、「紀州ファイングレープ(FG)」、「紀州ファインパープル(FPu)」では、クーラー区の100%に対してなりゆき温度区が56.3~75%と低く、抽苔本数もクーラー区よりも少なくなりました（表1）。他の5品種では、両育苗区の抽苔株率や抽苔本数は同等となりました。しかし、「紀州ファインピンク(FPi)」は、なりゆき温度区では抽苔花茎の除去を終了した後、草勢が旺盛となり、抽苔本数が著しく少なくなりました（データ省略）。



写真1 鉢上げ前の発根培養苗

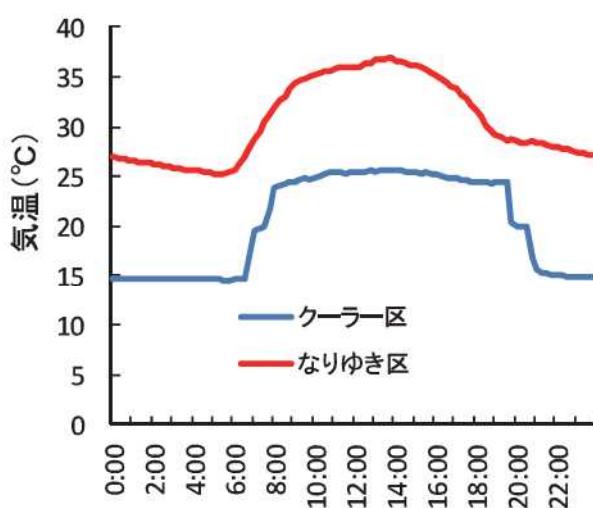


図1 育苗施設内の気温の推移 (2016年)
注) 各時刻の平均

紫系‘FV’、‘FG’、‘FPu’の総切り花本数は、両育苗温度区で同等でした（図2）。また、‘紀州ファインラベンダー（FL）’、‘紀州ファインイエロー（FY）’、‘紀州ファインパール（FP）’の3品種では、年内の切り花本数は、なりゆき温度区の方がクーラー区よりも少なくなりましたが、1～3月の切り花本数が多かったために、総切り花本数では、なりゆき温度区がクーラー区よりも0.4～1.5本少ない程度となりました。一方、‘紀州ファインブルー（FB）’および‘FPi’では、なりゆき温度区の総切り花本数は、クーラー区よりもそれぞれ2.5本、5.4本少なく、大幅に減収しました。

表1 スターチスにおける育苗管理温度と株養成終了時の抽苔

品種	育苗温度 管理	抽苔株率 (%)	抽苔本数 ^z (本/株)
紀州ファインバイオレット(FV)	クーラー	100.0	3.6
	なりゆき	75.0	0.8
紀州ファイングレープ(FG)	クーラー	100.0	1.2
	なりゆき	56.3	0.6
紀州ファインパープル(FPu)	クーラー	100.0	2.6
	なりゆき	75.0	0.8
紀州ファインラベンダー(FL)	クーラー	100.0	6.6
	なりゆき	100.0	5.3
紀州ファインブルー(FB)	クーラー	100.0	3.8
	なりゆき	100.0	3.3
紀州ファインイエロー(FY)	クーラー	100.0	7.3
	なりゆき	100.0	6.1
紀州ファインパール(FP)	クーラー	100.0	3.6
	なりゆき	100.0	3.9
紀州ファインピンク(FPi)	クーラー	100.0	2.3
	なりゆき	100.0	2.4

注) ‘FV’、‘FL’、‘FY’は2015年9月7日、‘FG’、‘FPu’、‘FB’、‘FP’、‘FPi’は2016年9月7日に定植、定植後2週間株養成のため抽苔茎を除去した

^z株養成終了時までに抽苔した抽苔茎の総本数

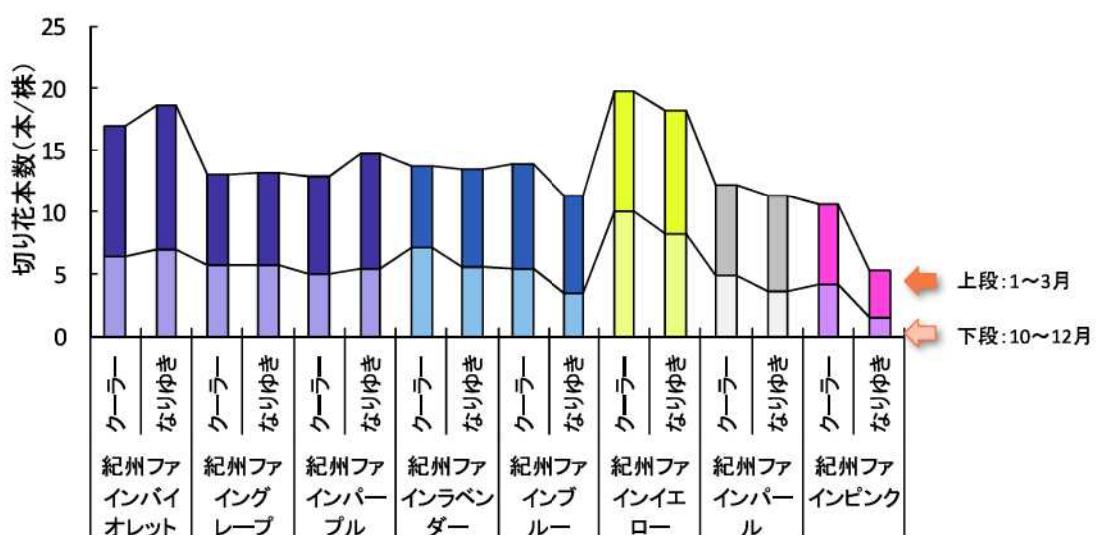


図2 育苗温度とオリジナル品種の切り花本数

注) 2015年9月7日定植: ‘FV’、‘FL’、‘FY’、2016年9月7日定植: ‘FG’、‘FPu’、‘FB’、‘FP’、‘FPi’

調査は各年3月15日まで

4. まとめ

オリジナル品種をなりゆき温度下で育苗すると、紫系‘FV’、‘FG’、‘FPu’の3品種は初期の抽苔が遅れるものの年内および3月彼岸までにクーラー育苗苗と同等の収量が得られました。また、‘FL’、‘FY’、‘FP’の3品種は年内の収量がやや少なくなりますが、大幅な収量低下は認められませんでした。このことから、これら6品種は、クーラー育苗を必要としないなりゆき温度での育苗が可能であると考えられました。しかし、‘FB’と‘FPi’の2品種は、クーラー育苗苗よりも収量低下が大きく、なりゆき温度での育苗は不適と考えられました。

（育種部 宮前治加）